Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適　用　規　格				
定　格	使用温度範囲	−40℃ ～ +105℃ (通電による温度上昇を含む)	保存温度範囲	−40℃ ～ +60℃
	電　圧	電源部：AC,DC 1000 V 信号部：AC,DC 300 V	電　流	電源部：300 A △4 削除 信号部：5 A
	△4 適合電線	150 sq		

性　能

	項　目	試　験　方　法	規　格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視，寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	接　触　抵　抗	電源部:DC 1 A で測定する。 信号部:100 mA (DC OR 1000 Hz) で測定する。	電源部：0.3 mΩ以下 信号部：35 mΩ以下	○	○
	絶　縁　抵　抗	DC 250 Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	−
	耐　電　圧	電源部にAC 2000 V、信号部にAC 1000 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡･絶縁破壊がないこと。	○	−
機械的性能	総　合　挿　抜　力	適合コネクタで測定する。	挿入力 49 N以下 抜去力 49 N以下	○	−
	繰　り　返　し　動　作	50 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗(電源部)：0.5 mΩ以下 (信号部)：40 mΩ以下 ② 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐　振　性	周波数 10 ～ 55 Hz，片振幅 0.75 mm, 5 分／サイクルで 10 サイクル試験する。	① 10 μs以上の電気的瞬断がないこと。 ② 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐　衝　撃　性	加速度　490 m/s^2，持続時間　11　ms, 正弦半波　3　軸方向　各 3 回試験する。		○	−
環境的性能	温　度　サ　イ　ク　ル	温度 -40 → 105 ℃ 時間　30 →　30 分 を 5 サイクル試験する。 槽の移し変え時間は2～3分とする。	① 接触抵抗(電源部)：0.5 mΩ以下 (信号部)：40 mΩ以下 ② 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	定常状態の耐湿性	温度 40 ℃，湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (カン合放置)	① 接触抵抗(電源部)：0.5 mΩ以下 (信号部)：40 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：1000MΩ以上(乾燥時) ③ 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐　熱　性	温度 105±2 ℃中に 96 時間放置する。 (カン合放置)	① 接触抵抗(電源部)：0.5 mΩ以下 (信号部)：40 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：1000MΩ以上 ③ 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐　寒　性	温度 -40±2 ℃中に 96 時間放置する。 (カン合放置)	① 接触抵抗(電源部)：0.5 mΩ以下 (信号部)：40 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：1000MΩ以上 ③ 破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	塩水噴霧	濃度　5 %の塩水，　48時間放置する。 (カン合放置)	接触部にはなはだしい腐食がないこと。	○	−

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△4	2	DIS-E-004819	MO.SHIMOYAMA	NM.NISHIMATSU	13.10.01

備考
上記規格値は適合コンタクトを組込んだ適合コネクタでの性能を示す。
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。

承　認	AO.SUZUKI	11.06.09
検　図	AO.SUZUKI	11.06.09
担　当	MO.SHIMOYAMA	11.06.08
製　図	MO.SHIMOYAMA	11.06.08

注　QT:確認試験　AT:製品検査　○:適用項目

		図番	SLC4-127465-00
HRS	製 品 規 格 表	製品名	PS2-2WP/2C/4CH
	ヒロセ電機株式会社	製品ｺｰﾄﾞ	CL236-1022-5-00　△4　1/1

技書規２３１－１